



【研究テーマ】

人々に創る、喜びを

～株式会社さくらほりきりと作業療法との共同企画イベントの開催～

【研究シーズの概要】

作業療法は、作業を通して人々の健康と安寧を促進することをめざす。教育課程において様々な作業活動を実際に体験し、作業が人にどのような影響を与え、またどのように作業を提供すべきかを学んでいる。一方、株式会社さくらほりきり（以下さくらほりきり）は、和紙をはじめとした手作り手工芸キット販売を手掛ける会社であり、子供から高齢者までだれもが手軽に簡単にモノづくりを楽しめるよう商品開発を行っている。

本学作業療法学科の授業の中でさくらほりきりの商品を用いて授業をしていることをブログで公開したことを期に、多くの方に創る喜びを届けたいという双方の目的が合い連携が実現した。



【産学連携のご提案】

さくらほりきりの社員は、デザインや商品開発を専門とするスタッフが在籍するが、医療福祉の専門職は在籍せず、多くの方に長年愛用していただいている商品は多く、実際、高齢者施設や精神科病院など多くの場面で利用され、高い満足度は聞かれ、リピータも多い。しかしながら商品が具体的にどのような効果があるか、どのような点がよいのかなどのデータが少なく、説明できないことが課題となっていた。

そこで研究機関である本学と連携することで、さくらほりきりの商品が人にどのような身体的・精神的・社会的な効果があるかを明らかにしたいと考える。これらが明らかになることは今後、より多くの方に創る喜び、笑顔を生み出すこととなると期待できる。

【関連業績】

1. 2023年2月 浜松志都呂イオンにおいてさくらほりきりのシールアートでの葉作りを通した産学連携の作業療法啓発活動（教員3名,学生ボランティア3名参加）
2. 2023年8月 静岡市かけこまち七間町においてシールアートによる暑中見舞い作りを用いた産学官連携の認知症予防講座（教員3名,学生ボランティア2名参加）
3. 2023年2月 静岡市かけこまち七間町においてパウダーアートによるマグネット作りを用いた産学官連携の認知症予防講座（教員3名,学生ボランティア3名参加）

【その他】

2024年度は産学連携研究を予定・計画している。